

令和８年度 第１回生駒市住居表示審議会会議録

- 1 日 時 令和８年５月１９日（火） 午前９時３０分～午前１１時４０分
- 2 場 所 生駒市役所 ４０３・４０４会議室
- 3 出席者
〔委 員〕 土平博委員、吉川真司委員、山本昇委員、松井邦友委員、坂本剛伸委員、澤田徹委員、森聡子委員、丸川明男委員、後藤治彦委員、松田悟委員（順不同）
〔事務局〕 井上博司総務部長、萩本和美市民課長、大石智子市民課主幹、松下洸市民課係員、真藤優香市民課係員
- 4 会議公開について
公開
- 5 傍聴者２名
- 6 配布資料
（１） 会議次第
（２） 生駒市住居表示審議会委員名簿
（３） 生駒市住居表示審議会説明用資料
- 7 審議事項
諮問事項１ 生駒市壱分町の一部、さつき台１丁目の一部、東生駒３丁目の一部、東生駒４丁目の一部を新町（仮称・いちぶ台）として設定し、あわせて住居表示を実施することについて
- 8 議事内容
（１） 開会
（２） 部長挨拶
（３） 委員の紹介
委員・事務局職員の紹介。
（４） 諮問事項の審議
諮問事項１ 生駒市壱分町の一部、さつき台１丁目の一部、東生駒３丁目の一部、東生駒４丁目の一部を新町（仮称・いちぶ台）として設定し、あわせて住居表示を実施することについて

(事務局説明)

- 当該区域における新町設定については、開発事業者からの「要望書」と他8名の地権者からの「同意書」が提出されている。それを受け、近隣・地元自治会から「意見書」が提出された。(各自治会からの意見内容を説明)
- 「要望書」および「意見書」を基に、開発区域全体を新町として住居表示することが最適であると考え「要望書」と同じ区域で、また、町名については「いちぶ台」で諮問を提出した。
- 前回の審議会で、飛び地が発生してはいけなのではないかという意見があったため、県や総務省に確認を行った。新町の中に飛び地が生じないように形成するための規定であり、既存の町が飛び地になることが必ずしもいけないということではない。
- 前回要望があった壱分町を分断しない案も作成した。この案では、新町となる面積が少なくなるため、2町に分けることはできなくなる。

(質疑)

- (委員) 単なる町名の決定ではなく、地域形成にかかわる重要なことである。また、一度決定されると変えることが難しいものだと思う。今回の資料について、飛び地を発生させない場合の課題とその課題についての整理がもっと具体的にあると思っており、期待していた資料と違った。審議会の連続性がないのではないか。
- (事務局) 諮問書案以外に壱分町を分断させない案を示し、またそれについてのメリットデメリットを示している。
- (委員) 開発事業者主催の合同意見交換会の資料と審議会の資料とで、開発範囲に相違があるのはなぜか。
- (事務局) 土地所有者からの申し出により、当初の開発区域と隣接している一部の土地も開発（造成）を行い、一体的に利用すると伺ったので、新町設定の区域として含めておく必要があると判断した。
- (委員) 開発の変更申請が提出されたのはいつか。行政的に確定していないことを議論して良いものなのか。
- (事務局) 変更の予定があると伺っていたので区域に入れていた。反対に、この審議会の案に載せなかった場合、店舗の真ん中で町が分かれる等の支障が出ると考えての判断である。
- (委員) 今後また追加があれば審議会を都度開くのか。審議会の定義を整理する必要があるのでは。
- (事務局) 開発許可がないと町の区域の変更ができないというわけではない。例えば、今回の開発区域ではないが要望書が提出されたので新町に含めているという場合もある。また反対に、開発区域ではあるが、新町として含めていない緑地もある。この審議会は住所を整理するために行っている。例えば今飛び地になっているところを新町にしてほしいという要望があれば、そのようにする。

- (委員) 地権者の役割について、地権者の意見を尊重するのは大切であるが、新規住民と既存住民や地域のコミュニティも重要である。公共性が第一であるのに、私には地権者の意見の比率が大きいように感じる。
- (事務局) きっかけは地権者からの要望書であった。それを基に、地域への説明や近隣自治会からの意見徴収を行い、諮問書を作成している。地権者の意見を優先しているということではない。本日の審議会では市が作成した諮問書の内容に対して、ご意見を伺いたい。
- (委員) この審議手続きの公平性について、この件は壱分東自治会に1番影響があると考えている。他の4つの自治会からの意見と同じ大ききさで受け止められているように感じる。
- (事務局) 壱分東自治会に一番影響があるという認識はある。しかし、要望書の9名の中には壱分町の方も含まれている。地権者でもあり、地元の方でもある。地域のことも考えての要望書であると捉えている。
- (委員) さつき台自治会の意見は、自治会についての意見である。区割りや町名の話とは別問題である。
- (事務局) それについては事務局でさつき台自治会に確認済みである。自治会のことしか要望書に書いていないが、区域としても開発区域は一体的に新町にしてほしいという意見であった。
- (委員) 審議の前提の話が多いが、この審議会では諮問書の内容について意見する必要がある。

10時38分 休憩

10時44分 再開

- (委員) 開発区域は全て新町としてほしいというのが、さつき台自治会の意見である。壱分町が分断してしまうが、住居表示が違っても自治会に入ってもらえることはできる。住居表示の観点からすると全て新町とするのが合理的だと思う。
- (委員) 飛び地になっている例は他でもある。諮問で提出している案が良いと思う。
- (委員) 飛び地が出ることは致し方ないと認識しているが、壱分東自治会の意見は重視してほしい。また村というものが、田んぼや山も含むという歴史的経緯も重視する必要がある。加えて行政上の合理性を考えたい。市で、市の諮問の案を支持したい。しかし、校区の問題はしっかり議論していただきたい。
- (委員) 警察の立場としては、公共の安全と秩序の維持が活動の根幹である。住居表示への意見をする立場ではないが、あまりにも複雑な住居表示は公務に支障をきたす。
- (委員) 壱分町が飛び地になる点がどうかと思ったが、話をきいていると開発

される地域の一体性を重視した方が良いと思う。諮問の案を支持したい。

(委員) 公共の立場であるので、みなさんの意見に従う。

(委員) 開発区域には同じの世代の世帯が入ってくることが想定できるので、全て新町とした方がコミュニティとして良いと感じる。飛び地の発生によって考えられる課題として挙げた防災や行政サービスの面は、不利益がないように、行政に対してこの委員会から強く要請するというところでどうか。

(委員) 校区については南北で分けて2町とする選択肢もあると考える。しかし、隣接校選択制という制度があるため開発区域をまとめて新町としても問題ない。

(委員) オーナーズヒルから南側を新町とすることが私たちの要望である。壱分町を分断しない案として作成されているこの姿は要望しているものではない。今回の開発地にはオーナーズヒルが拡張されたようなイメージを持っている。開発地区一体を新町にするという意見も理解はできる。ただ、壱分東自治会が分断されることを懸念している。

(委員) 区域については当初案でいいというのが多い意見である。ただ、歴史的なコミュニティの問題や校区の問題は懸念事項として残る。

(事務局) 開発区域を一体的に新町にするならば、それを1町か2町に分けるかという意見もいただきたい。また、諮問では一体化した案を出しているが、開発区域の東側にはさつき台側に進入路がある区画が存在する。ここについても意見を聞きたい。

(委員) 区域については諮問通りで問題ないと思う。「いちぶ台」という名称についてはどうか。

(委員) 家がある部分は確かに「台」であるが、丘陵地も含んでいるので「台」は違和感がある。地域の名称としては「後谷」や「明ヶ谷」、「笹尾」があるが、なじみがないのでそれも微妙ではある。「いちぶ」には特に意見はない。

(委員) 地域の話し合いでも「台」は違和感があると同じ意見が出た。

(委員) 開発業者目線から見ると「谷」というのは、一般的にマイナスなイメージがあるとされている。市内でも「台」の付く地域が多いので「いちぶ台」でも悪くないと思う。住む人が愛着を持てるような町名が良いと思う。

(委員) 西側の谷の部分は商業地であり、居住者はいない。厳密に地形と町名を結びつける必要はないのではないかと。「さつき台」も近隣にあることから「いちぶ台」で良いと思う。

(委員) 私も「後谷」とつけるのは、マイナスのイメージが付くことからあまり良いとは思っていない。ただ、谷の部分にも分譲マンションが建つことは事実である。「北いちぶ」はどうか。

(委員) 「北いちぶ」は語呂が悪い。「いちぶ北」の方が分かりやすいのでは。

- (委員) 実は地元の話し合いでも「いちぶ北」という意見が出た。壱分町の自治会にはすでに東と西と南がある。「いちぶ」は漢字でもひらがなでも良い。
- (委員) 「壱分」は漢字の読みが難しいのでひらがなで良いのではないか。
- (委員) 「東壱分」「西壱分」という名称は以前から地元で使われていた。
- (委員) 地元の方の意見が大切である。町を2つに分ける案については意見あるか。
- (委員) 校区でいうと案の南側の3や4は結局東小学校が近いので、あまり2つに分ける必要もないと思う。
- (委員) そういうことであれば1町で良いのではないか。
- (委員) 他に意見ないか。
- (委員) 今回の審議会では、既存と新規のコミュニティが重要視されていないように感じている。さつき台にも壱分町東にも若い世代がいる。分断されると子供会の懸念もある。
- (委員) 街区割りについてはどうか。
- (委員) 意見なし。

(まとめ)

1. 町の区域について

新しく居住する住民のコミュニティ形成の観点から、諮問のとおり開発区域を一体的に新町とする意見が多数であった。なお、近隣区域に居住する住民とのコミュニティを重視する観点から、壱分町を分断しない区域割りとする意見もあった。

2. 町の名称について

諮問の「いちぶ台」について、地形的に「台」は違和感があり、区域が壱分町の北部に位置していることから、名称は「いちぶ北」が適しているということで合意が得られた。ただし、生駒市内の町名では「〇〇台」も多いことや地形と町名を必ずしも結びつける必要はないことから「いちぶ台」でよいのではないかという意見もあった。

3. 街区割りについて

諮問のとおりとすることで、反対意見はなかった。

(今後の流れ)

答申案を作成し、各委員へ提出

9 閉会